

# 木の大学特別講座・2019 フィールドレクチャー・飛騨高山一之宮

## 受講ご案内

### 木の内科はじまり-2 — 飛騨の姫子 処方とトレーサビリティ — 原木見立てから製材・マテリアルトリートメントへ

ヒメコ（五葉）は、芳香テルペンを発散、軽軟質で狂わず、地上の美質。木型・彫物、建具・楽器、建築材として重用されてきました。木曾・飛騨・会津山口は、3大産出地でしたが、伐り尽くして飛騨地方にわずかに大樹が残されています。樹形は、姿見目うるわしく深山のレディ、姫子と言われてきました。芯央赤身には抗菌性があり、オーガニック天然素材は清潔な衛生メディカルマテリアルとして再評価されるでしょう。

壮齢元口二尺の大径木に巡り合わせ、現場作業を通じてプロのリアルな手法を相伝するベストタイミング。

木を読み、切り分け、素材の処方を体得するウッドワークショップで得られる新たな「木の内科」の知見は、総合的な学識と高度な技能をもつ「木の専門職」をめざす人に道を拓きます。

飛騨ヒメコ松の専門製材所で行う、またとない木の国現場オペレーションですので、是非ご参加ください。